

(様式)

会議等速報

件名	令和6年度第1回 鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協議会	作成課	観光交流局 世界遺産・ジオ・ツーリズム 推進課
日時	令和6年9月25日(水) 14:30~16:00		
場所	東別館9階特別中会議室		
出席者	委員 11名(欠席 3名)		
市出席者	委員:中観光交流局長 事務局:奥観光交流局次長、世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課職員		
会次第	1 開会 2 協議 (1) 第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画の全体像 (2) 第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画に基づく事業・取組について (3) 修学旅行等を対象とする「農家民泊」受入態勢の充実について (4) 業務型ワーケーションモニターツアーの実施について 3 その他 4 閉会		
主な意見等	<p>【主な意見】(○委員 ●事務局)</p> <p>協議内容について、事務局から説明を行った後、委員からの意見聴取を行った。</p> <p>(1) <u>第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画の全体像</u> 特に意見等なし</p> <p>(2) <u>第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画に基づく事業・取組について</u> ○宿泊機能の強化が挙げられているが、5年度実績が少ない。現在農家民泊を行っている方々へ、施設をより充実して集客を図るためのヒアリングなどを実施してもらいたい。 ●「鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協会」とも連携しながら、インバウンド対応の研修等も行ってきた。今後実施する「業務型ワーケーション」についても農家民泊を活用して実施する予定。</p> <p>○大きな企業とコラボして、地域に「稼ぐ力」を落とし込んでいけば、グリーン・ツーリズムの活動も継続的にできるのではないかと。そういったアクションがなければ、単体の施設では「稼ぐ」のは難しいのかなと思う。 ●高齢化していく中では、個としての活動が難しくなっていくと思われる。 「宿泊だけなら」、あるいは「体験だけなら」できるという方もいるので、その部分のマッチングを図り、安定した経営が進められるようにしたい。</p> <p>○漁業体験は普段から仕組みがこのような体験ができる仕組みが出来上がっているのか。今後旅行業者等で販売可能なものとして形にしてほしい。 ●仕組みが出来上がっているものではなく、漁協の協力のもと、その都度打合せして実施している。次年度以降は、実施方法の変更を検討し、発展性を模索していきたいと考えている。</p>		

○目標指標について、物価高などの特殊事情があれば計画期間内でも変更できるようにしたほうが現実的なものとなるのではないか。

●目標指標については、計画期間内の変更は考えていない。最終的に達成できなかった場合には、原因を分析して次期計画策定に活かしていきたい。

(3) 修学旅行等を対象とする「農家民泊」受入態勢の充実について

○「農家民泊」を軸として、他との関わりをもって「群」として活動できるよう各地域のキーパーソンとなるような方との議論を積極的に進めていてもらいたい。

●それぞれできることを行うという形で「群」が形成されるようにして、将来的には「農家民泊」から「農家民宿」へ進められるようにしたいが、それぞれの思いを汲みながらどう広げていくか考えたい。

(4) 業務型ワーケーションモニターツアーの実施について

○企業のニーズを把握するにあたって、企業の人事担当者に聞くとその企業のニーズとなって、全体的なものとならない可能性がある。ワーケーション関連に長けたプロフェッショナルなチームに来てもらったほうが、業種による潜在的なニーズなど、より深く意見がもらえるのではないか。

●本事業については来年度も継続して実施を検討しているが、実施するとした場合には、研修を業とするような方々から意見を聞けるような形にしていきたい。